

臨床倫理月間WEB大会 プログラム

座談会：コロナ禍での臨床を支援するための日本臨床倫理学会の試み（座長：新田國夫、稲葉一人）★ディスカッションあり		
講演1	それぞれのコロナ禍についての特集・高齢者緩和ケアのWG	箕岡真子
講演2	臨床倫理認定士基礎編の開催・座談会	川崎志保理
講演3	倫理コンサル事業・第9回学術大会	三上容司
講演4	CECEによる教材開発と学会HPを通じてのレクチャー配信	松村優子
講演5	病院を中心とした教材開発から、「施設」「在宅」を中心とした介護者への倫理教育教材の開発	倉井千恵
教育講演 1		
	アドバンス・ケア・プランニングについて	三浦靖彦
教育講演 2		
	認知症診療の倫理	繁田雅弘
教育講演 3		
	心不全診療における倫理	野々木宏
シンポジウム 1：精神科診療の倫理		
S1-1	利用者参画（患者・市民参画）と精神科診療の倫理	杉原正子
S1-2	パターンリズムの克服と長期入院患者の地域移行・地域定着	青木 勉
S1-3	軽度認知障害患者における治療同意能力	寺田整司
S1-4	日本の精神医療・3つの非倫理 —国際比較から—	大熊由紀子
シンポジウム 2：認知症の人の自律の概念を考える—日常生活から、医療ケア、研究倫理まで—		
S2-1	アドバンス・ケア・プランニングと認知症の人の自律	竹下 啓
S2-2	FrailでVulnerableな人々の尊厳に配慮するために	箕岡真子
S2-3	Vulnerableな方の意思への配慮と自律	稲葉一人
シンポジウム 3：院内で倫理的対話をするための困難を克服する（座長：稲葉一人）★ディスカッションあり		
S3-1	横浜労災病院における臨床倫理コンサルテーション活動を振り返って	三上容司
S3-2	名古屋第二赤十字病院倫理コンサルテーション5年間の歩みと工夫	野口善令
S3-3	浜松市リハビリテーション病院の倫理コンサルテーションチーム活動	金沢英哲
S3-4	院内臨床倫理活動 過去／現在／未来を語る 臨床倫理コンサルテーションチーム活動	清水 恵

S3-5	当院の倫理コンサルテーションチームの活動と今後の課題	森 一樹
シンポジウム4：多様な臨床倫理活動（座長：稲葉一人・長尾式子）★ディスカッションあり		
S4-1	中山間地域に於ける認知症の臨床倫理実践	近藤啓子
S4-2	栃木県立がんセンターにおける臨床倫理委員会の取り組み ー倫理志向の組織を目指して倫理的思考を育む活動ー	永井智恵美
S4-3	病院と地域とともに倫理的課題を吟味するための倫理コンサルテーション活動	松村優子
S4-4	多様な臨床倫理活動の可能性 ー地域に於ける東海臨床倫理研究会の役割ー	明石恵子
S4-5	調布市における臨床倫理コンサルテーション「りんりんの会」	井上京子
シンポジウム5：透析の開始と継続をめぐる倫理 ★ディスカッションあり		
S5-1	このシンポジウムの目指すもの	竹下啓（座長兼任）
S5-2	透析医療における倫理的問題点	三浦靖彦
S5-3	患者当事者・患者をサポートする側から見た「透析と倫理」	宿野部武志
S5-4	透析医療と「人間の尊厳」	堂園俊彦
シンポジウム6：臨床倫理教育		
S6-1	医学科における臨床倫理教育の実践 ーその意義と課題ー	瀬戸山晃一
S6-2	慈恵医科大における臨床倫理教育	岡崎史子
S6-3	卒前・卒後における「臨床倫理」教育の現状と課題 ー宮崎大学医学部医学科及び附属病院における取り組みー	板井孝亮
S6-4	コンサルテーションチームの活動を通して臨床教育について学んだこと	佐藤仁和子
S6-5	臨床倫理教育の実践 ー介護老人保健施設での取り組みー	宮本芳恵
一般演題1：倫理コンサルテーション①		
01-1	がん専門病院における倫理コンサルテーションチームの相談内容からみる独自性	關本翌子
01-2	倫理コンサルテーション・チームによる介入・支援活動の効果および、その改善策	中山貴博
01-3	訪問看護ステーション看護管理者の臨床倫理に関する知識と臨床倫理カンファレンス開催に対するニーズ	實金 栄
01-4	当院における倫理コンサルテーションの取り組み	中山正吾
01-5	Narrativeを起点として倫理コンサルテーションのあり方を考える	宮下照美
01-6	コンサルテーション事例の学びから生まれた倫理志向的行動変容 ー違和感を切れ目なく繋いでいく自律的なチーム医療ー	永井智恵美
一般演題2：倫理コンサルテーション②		
02-1	当院における臨床倫理コンサルテーションチームの活動報告	一美奈緒子

02-2	当院における倫理コンサルテーションの実態について	三浦邦彦
02-3	臨床倫理コンサルテーションチーム発足後の初動9か月間の依頼と対応状況	郷間 徹
02-4	東京慈恵会医科大学柏病院臨床倫理委員会・コンサルテーションチームの活動について	藤本 啓
02-5	東北大学病院倫理コンサルテーション関連文書の記述倫理的分析	浅井 篤
一般演題3：倫理教育①		
03-1	転倒転落アセスメントスコアシートの分析	多田早葉子
03-2	A病院における臨床倫理研修の意義	野瀧悠莉
03-3	地域の中小病院における倫理カンファレンス活性化の試み	清水幸裕
03-4	急性期病院での倫理カフェ ～倫理コンサルテーションチームの取り組みを通して～	宮本知佳
03-5	急性期病院における高齢患者への抑制しない看護コンピテンシー尺度の妥当性と信頼性の検討	北野久美子
一般演題4：倫理教育②・慢性期医療		
04-1	救急外来における倫理カンファレンスの取り組み	菅原明美
04-2	急性期病院の消化器科病棟の看護師が抱える倫理的ジレンマの実態	大谷真代
04-3	岡山県認知症臨床倫理研究会、5年間の歩み	寺田整司
04-4	精神疾患を有する介護者への多施設多職種による包括的支援によって、本人と介護者の意向に沿うケアが提供できた一例	鈴木邦代
04-5	誤嚥防止術における臨床倫理的問題	内田真哉
一般演題5：急性期医療		
05-1	救急医療現場で起きる倫理的問題に対する考察	神原淳一
05-2	救急医療現場で遭遇する認知症患者に対する倫理的問題	伊藤千晴
05-3	当院ではじめてとなる脳死下臓器提供に関わった職員が脳死下臓器提供について感じた倫理的妥当性の検討	寺島康博
05-4	非侵襲的陽圧換気（NPPV）は本当に非侵襲的なのか？ ～治療の侵襲性に対する医師・看護師の認識差～	永澤彩加
05-5	脳梗塞重度後遺症患者における抗血栓療法のある方	神澤孝夫
一般演題6：アドバンス・ケア・プランニング（ACP）		
06-1	入院中に認知機能が低下したFrail状態の高齢者に対するACPの実践と課題	浜谷千枝子
06-2	人生の物語から紡ぐアドバンス・ケア・プランニングの取り組み	清水幸裕
06-3	医療・介護関係の有識者による自由討論の質的分析で抽出されるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の問題構造 ～臨床現場が抱えるジレンマ～	村瀬樹太郎
06-4	倫理的に外来在宅療養支援の方向性を話し合いACPIに繋ぐ ～支援のタイミングをキャッチ後の『支援のフロー図』を運用して～	山澤明子

06-5	人生会議(アドバンスケアプランニング)を自分事として考えてもらうために ～流山市における住民対象の「もしバナゲーム®」体験会開催の試み	中村 恵
一般演題7：倫理カンファレンス		
07-1	臨床倫理カンファレンスが拒否の減少に繋がった事例	岩田千奈
07-2	倫理観の向上と倫理志向の文化醸成を目指した取り組み 「公開制・医師との臨床倫理意見交換会」	永井智恵美
07-3	臨床倫理カンファレンスで病院を変える！！ ～白河厚生総合病院チーム・ドリームの活動報告～	鈴木文子
07-4	倫理サポーター養成講座の取り組み	宮田智仁
07-5	統合失調症患者の生体腎移植における倫理コンサルテーションの経験	杉谷 篤
07-6	社会復帰を望むギラン・バレー症候群患者への関わり ～回復期リハビリテーション病棟における臨床倫理カンファレンス～	豊田貴信
一般演題8：終末期医療		
08-1	急性期病院における重度認知症のある心不全高齢者の意思決定支援 ～関りが少ない家族の真意をくみとる多職種倫理カンファレンス～	沖津小雪
08-2	成人悪性神経膠腫患者への告知とサポート体制の現状と課題 ～医師・看護師に対するアンケート調査結果の一考察～	長谷川智香
08-3	家族の拒絶により自宅退院できなかった終末期心不全患者の看護実践の振り返り ～「一般病棟におけるがん患者の家族ケア実践評価スケール」を用いた課題の抽出～	近藤千春
08-4	維持血液透析を行う部署の看護管理者のエンドオブライフ・ケアに関するガイドライン・指針の認知度	貫金 栄
08-5	透析をやめたいという患者への倫理的対応 ～スピリチュアルペインの理解とケア～	長久栄子
一般演題9：生殖・小児医療・DNAR		
09-1	重症疾患をもつ胎児の診療方針決定にまつわるジレンマ ～先天性横隔膜ヘルニアが疑われる胎児を例に～	森山佳則
09-2	夫婦に対する個別対話で葛藤の要因を分析し、妊娠を受容させることができた一例 ～夫婦間の価値対立の暴露をすることは、許容されるのか？～	天川慧美
09-3	妊孕性温存を強く希望する局所進行乳がん女性の妊孕性温存対応をめぐる倫理的問題へのアプローチ	池田 牧
09-4	2つのエピソードからみた「知らないでいる権利」に関する医師の理解の現状	中井祐一郎
09-5	DNARは転院のための要件なのか？	鈴木 聡
09-6	蘇生不要指示についての看護師の解釈	菅原明美
一般演題10：倫理コンサルテーション③・その他		
010-1	急性期病院における臨床倫理コンサルティングチームの取り組み	深田陽子
010-2	急性期病院における臨床倫理コンサルテーションチームの活動と課題	梅田節子
010-3	高難度新規医療技術の管理体制における現状と今後の課題 —宮崎大学医学部附属病院における臨床倫理と医療安全の“住み分け”と“協働”—	三浦由佳里
010-4	地理情報学的手法を用いた外国人患者の医療ケアの検討	武井勇也